

2021年度（令和3年度）幼稚園教育計画書

園番（27）福山市立緑丘幼稚園

園長名 明石 早希子 印

（教育目標）

「心豊かにともに伸びる“たくましい子ども”の育成」

- ・やさしい子（友だちの気持ちを受け止められる子）
- ・考える子（自分の思いを伝え、友だちと一緒に考えられる子）
- ・粘り強い子（自己肯定感をもち、目標をもって取り組める子）

（教育目標設定の理由）

本園のある地域は、人口の流入が多くなり、市中心部から離れた東部にあるにもかかわらず商業施設や住宅が増えた地域である。

近年働く保護者が増加し、年々園児数は激減する一方で、学区外から車での登園者数の割合は増えている。そのため、子ども同士、保護者同士のつながりが希薄になっている。また、コロナ禍の中で社会状況が一変し、子どもの遊びや文化も大きく変容し、室内遊びが増えている。中でもゲーム・動画等 ICT 機器を使って夢中になって遊んでいる子が増加している。

保護者の価値観も多様化し、保護者が子離れできにくく、子どもに気を遣いながら接し、基本的な生活習慣の大切さや自立に向けたしつけについて保護者自身がどうかかわって良いか悩んでいる保護者がいる一方で、周りの人とあまり交わろうとせず、自分流の子育てをする保護者も増えている。

子ども達は、好きな遊びを見つけて楽しんでいるが、人と関わる経験が乏しく、また経験不足から不安感が強く、間違いや失敗を恐れ、自分の思いや困り感を素直に表現することが苦手な子も多い。

このような実態から、一人一人が安心して園生活を楽しみ、集団の一員として自信をもって行動し、友達と力を合わせることの大切さや素晴らしさ、達成感や満足感を感じ取ることができるよう、人との関わりや自然とのふれあいなどの豊かな感動体験活動を通して、教育目標に迫っていききたい。

（教育指導の重点）

- ① 一人一人が自信をもって自己発揮できる子を育てるために
 - ・一人一人が自分の思いを安心して表現できる関係を教師とつくる。
 - ・個の実態や育ちを丁寧に観察し、子どもを信じて任せながら、小さな成功体験を積み重ねる。
 - ・互いの違いを受け止め、認め合い、応援し合える集団づくりをする。
- ② 直接体験を大切にしたい感動ある保育実践をするために
 - ・子どもの声に耳を傾け、興味のある遊びを共有できるよう保育内容の充実を図る。
 - ・幼児の体力（身体力）・耐力（さまざまな困難に耐え打ち勝つ力）・対力（人と関わる対応力）を育てる保育内容の工夫をする。
 - ・年齢や発達段階に応じた感動体験、直接体験、試行錯誤できる環境を構成する。
- ③ 保護者や地域の人とのつながりを大切にするために
 - ・保護者と丁寧な連携を通して信頼関係を築き、子育てについて共に考える。
 - ・PTA活動や地域行事への参加を通して、子育ての楽しさや喜びを実感する場を設ける。
 - ・小学校との連携を通して、学びの連続性を図る。

（研究テーマ）

一人一人が自己表現し、自信をもって活動する幼児
～ 表現意欲を高める援助や環境を通して ～

（研究公開計画）

2021年（令和3年）10月15日（金）